

All Japan Formula Championship- F-1 / F-2

●排気量：	対象車種例を参考にしてください
●変更/改造：	吸排気系 = 変更が可 足まわり = ノーマルからの型式変更は不可。パーツ・素材変更が可 エンジン = ターボなど過給器の後付けは不可。同排気量、同年式のエンジンへの換装が可 ブレーキ = 変更はが可 ボディ = 車輻外寸の変更は不可 ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る ガスタンク = ノーマルで可。容量変更は不可。安全タンクの設置を強く推奨。タンクを変更する場合は安全タンクへのみ可 安全タンクの容量はノーマル容量以下とします
●タイヤ：	メーカー、サイズの規定はしません

車輻対象例：

F-1 class

72年以降の車輻。F1、F2、F3、F4、ナショナルフォーミュラ系、フォーミュラ・フォード、フォーミュラ・ルノー、FJ、フォーミュラトヨタ、スズキ隼、CAN-amカー、GCカー、RSなど、ウィングカー（グランドエフェクトカー）

F-2 class

葉巻型を中心としたヒストリックフォーミュラカー（各カテゴリー71年以前の車輻）、ウィングカー（グランドエフェクトカー）、を除く
ナショナルフォーミュラ、90年以前のFJ、ザウルス、ザウルスJr、KL、ロータス23Bなど

All Japan Super7 Championship- 7-1 / 7-2

●排気量：	対象車種例を参考にしてください
●変更/改造：	吸排気系 = キャブ形状/サイズの変更が可 足まわり = ノーマルからの型式変更が可。パーツ・素材の変更が可 エンジン = ターボなど過給器の後付けは不可。同排気量、同年式のエンジンへの換装が可 ブレーキ = 変更が可 ボディ = 車輻外寸の大幅変更は不可（オーバーフェンダーの後付けが可） ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る。鳥かご型ロールケージの装着を極めて強く推奨 ガスタンク = ノーマルで可。容量変更が可。安全タンクの設置を強く推奨。タンクを変更する場合は安全タンクへのみ可
●タイヤ：	メーカー、サイズの規定はしません

車輻対象例：

7-1 class：BDR以降のコスワース系、ヴォグゾール系、ゼーテック系、ジネッタG12

7-2 class：ケントユニットセブン（1700ccまで）、1.4Kシリーズ、ロータスツインカム（1.6L以下）、ジネッタG4

FL

●排気量：	国内FL規定による
●変更/改造：	吸排気系 = 国内FL規定による 足まわり = 国内FL規定による エンジン = 国内FL規定による ブレーキ = 国内FL規定による ボディ = 国内FL規定による ロールケージ = 30φ以上の外寸、および、2.5mm以上の肉厚の鉄素材に限る。鳥かご型ロールケージの装着を極めて強く推奨 ガスタンク = 国内FL規定による
●タイヤ：	メーカー、サイズの規定はしません

●その他：共通項目

- ・前後牽引フックの装着が義務（牽引フックはオリジナル工具の使用が可）
- ・4点式以上のシートベルトの装着を極めて強く推奨
- ・安全タンクの設置を極めて強く推奨
- ・消火器の設置を極めて強く推奨
- ・キルスイッチを極めて強く推奨
- ・ノーマックスのフェイスマスクやアンダーウェアの装着を特に強く推奨します
- ・フォーミュラカーの場合、走行させるためのやむを得ない変更は可とします

●マフラー音量：筑波/マフラー後方の直線距離でレッドゾーンマイナス1000rpm時で計測/3m地点で100db以下、2m地点で110db以下、0.5m地点で115db以下

●基本的にFormura F-1/ F-2とsuper7 7-1/ 7-2、FLは混走/別賞典となります

●雨天の場合はスリックタイヤでの走行はできません。必ずウエット用のタイヤも準備してください

●賞典：各クラス3位までをトロフィにより表賞します

●該当者の前走において、1位に7秒、2位に5秒、3位に3秒を各々加算します(FLはタイムハンデの設定は行ないません)

※決勝が減算周回数などにより、規定周回数未満の場合、筑波：2周減算につき1秒、茂木：1周減算につき1秒をハンデタイムから削除して計算します

●移動におけるポイント/前走のポイントを新クラスに持ち越すことはできません。移動前のリザルトはそのまま残ります